

はじめに 本書を手にした皆さんへ

この『未来を拓くーようこそ立命館へー』は、立命館大学に入学された皆さんが、本学の基本的な理念や本学における学びの特徴を知り、大学生としての自己形成について考えること、またそれを通じてこれからの本学での学びと生活を豊かにしていくことをねらいに作成されました。

本書の冒頭部分には、附属小学校・中学校・高等学校や立命館アジア太平洋大学をあわせた立命館学園全体の理念を定めた「立命館憲章」（2006年制定）と、立命館大学の学生が学生生活を通じて卒業までに身につけるべき思考力や行動力を定めた「立命館大学学生育成目標」（2018年制定）を収録しています。憲章と学生育成目標は、立命館大学における正課および正課外での教育の根幹にあるものです。本書を手にした皆さんは、まずはこれらを読み、それから本文へと進んで下さい。

本文は第1部と第2部から構成されています。第1部「立命館大学の学び」には4つの章があります。第1章では、大学で学ぶこと、またとりわけ立命館大学で学ぶことの意義、大学での学びと高校までの学びの違い、学問分野による特性などについて述べています。第2章では、立命館大学での学びの特色にかかわって、ピア・サポート(学生相互の学びあい)、正課外の多様な学術・学芸・スポーツ活動、地域ボランティアと結びついたプログラム、大学院での学びとそれを支える研究の状況について説明しています。第3章では、立命館大学の創立から現在までのあゆみをたどり、あわせて立命館大学国際平和ミュージアムの紹介を行っています。第4章では、総合大学である立命館大学の16の学部について、学部ごとに学びのテーマやアプローチの面での特徴を解説しています。

第2部「自己理解、他者理解、そして社会の一員へ」には3つの章があります。第1章では、青年期の自己形成に特有の探求(自分探し)や試行錯誤について、自律・自立や心身の健康の観点から考察しています。第2章では、他者とのつながりにおける、コミュニケーション、恋愛とジェンダー、異文化理解、社会的暴力、危険な機会の見極めといったさまざまな側面に光をあてています。第3章では、皆さんが社会の一員となるうえでの課題として、ルールとモラル、多様なものの包容、情報ネットワークの賢い利用、働き方・暮らし方の選択、主権者としての社会参加をとりあげています。

個々の記事には、参考文献と論点(第1部は「考えてみよう」、第2部は「話し合ってみよう」)をつけています。また、第2部の論点の一部については、ピアでグループワークを行うための課題を提供しています(<http://www.ritsumeai.ac.jp/pathways-future/work/>)。

大学では、自ら計画をたてて学ぶことや、いろいろな問題について個人またはグループで調べて発表することが求められます。具体的な方法は人文・社会科学と自然科学で、またそれらの内部でも学問分野によって異なりますが、高校までの学びのスタイルを大学にふさわしいものにつくりかえ、授業外での学びを含めて主体的に学ぶ姿勢を確立することは、どんな分野でも不可欠です。また、学習の意欲を高めていくうえでは、同じクラス・回生・学部の友人との、さらにはそれらの垣根をこえた友人との交流と学び合いから教室の内外で受ける刺激がたいへん重要です。立命館大学では、グループでの学びのための空間(ラーニング・コモンズ)を各キャンパスに設置しています。

この『未来を拓く』が、これからの立命館大学での学びとそのなかでの成長について、皆さんが自らのビジョンを持ち、主体的な学び、ピアでの学びへの第一歩を踏み出すことに少しでも役立つことを願っています。

立命館憲章

立命館は、西園寺公望を学祖とし、1900年、中川小十郎によって京都法政学校として創設された。「立命」の名は、『孟子』の「尽心章句」に由来し、立命館は「学問を通じて、自らの人生を切り拓く修養の場」を意味する。

立命館は、建学の精神を「自由と清新」とし、第二次世界大戦後、戦争の痛苦の体験を踏まえて、教学理念を「平和と民主主義」とした。

立命館は、時代と社会に真摯に向き合い、自主性を貫き、幾多の困難を乗り越えながら、広く内外の協力と支援を得て私立総合学園への道を歩んできた。

立命館は、アジア太平洋地域に位置する日本の学園として、歴史を誠実に見つめ、国際相互理解を通じた多文化共生の学園を確立する。

立命館は、教育・研究および文化・スポーツ活動を通じて信頼と連帯を育み、地域に根ざし、国際社会に開かれた学園づくりを進める。

立命館は、学園運営にあたって、私立の学園であることの特性を活かし、自主、民主、公正、公開、非暴力の原則を貫き、教職員と学生の参加、校友と父母の協力のもとに、社会連携を強め、学園の発展に努める。

立命館は、人類の未来を切り拓くために、学問研究の自由に基づき普遍的な価値の創造と人類的諸課題の解明に邁進する。その教育にあたっては、建学の精神と教学理念に基づき、「未来を信じ、未来に生きる」の精神をもって、確かな学力の上に、豊かな個性を花開かせ、正義と倫理をもった地球市民として活躍できる人間の育成に努める。

立命館は、この憲章の本旨を踏まえ、教育・研究機関として世界と日本の平和的・民主的・持続的発展に貢献する。

2006年7月21日 学校法人 立命館

The Ritsumeikan Charter

Ritsumeikan traces its roots to Prince Saionji's private academy of the same name, established in 1869. It was officially founded in 1900 by his protégé, Kojuro Nakagawa, as the Kyoto Hosei Gakko (Kyoto School of Law and Politics), later to take on the name "Ritsumeikan." The name is derived from a passage in the Jinxin chapter of the Discourses of Mencius, and means "a place to establish one's destiny through cultivating one's mind."

Ritsumeikan's founding ideals are "freedom and innovation" and reflecting upon its wartime experience, it committed itself to a core educational philosophy of "peace and democracy" after World War II.

Ritsumeikan has faced the challenges of the times by pursuing an independent path to rise above adversity and has become the comprehensive private educational institution that it is today through extensive cooperation and support from both within and outside Japan.

Ritsumeikan, as a Japanese institution located in the Asia Pacific region, is committed to sincerely reflecting upon history and to building an institution where many cultures coexist in the spirit of international mutual understanding.

Ritsumeikan will build relationships of trust, through research and education, as well as sports and cultural activities, and establish its roots in the local community, to create an academic institution open to international society.

Ritsumeikan will strive to strengthen links with society and promote its institutional development by fully utilizing the characteristics of a private academic institution, the participation of its faculty, staff and students, and the support of alumni and parents, while respecting the principles of autonomy, democracy, transparency, non-violence and justice.

Ritsumeikan will pursue the creation of universal values based on academic freedom and search for solutions to the pressing issues facing humankind, with its educational endeavors based on its founding spirit and educational ideals, bearing in mind "to believe in the future, to live for the future."

Ritsumeikan will foster learning and the development of individual talents in order to nurture just and ethical global citizens.

Ritsumeikan, as an institute of education and research, pledges to promote peace, democracy and sustainable development in Japan and throughout the world, in keeping with the spirit of this Charter.

2006年7月21日 学校法人立命馆

立命馆宪章

立命馆由学祖西园寺公望创始，一九〇〇年中川小十郎创建京都法政学校。

“立命”出自《孟子·尽心章》，立命馆意为“钻研学问，开拓人生之修养的场所”。

立命馆以“自由和清新”为建学精神，第二次世界大战后，痛鉴于战争苦难经历，确立“和平与民主主义”的教学理念。

立命馆坚持贯彻自主性原则，努力克服重重困难，以真挚的态度面对时代和社会，赢得了校内外各界人士的广泛支持和援助，发展成为一所私立综合性学园。

地处亚太地区的日本学园—立命馆，以诚实的态度面对历史，努力确立具有国际间相互理解的多元化共生的学园。

我们通过教育，研究及文化和体育活动增强相互间的互动意识，扎根于所在地区，努力将学园建设为面向国际的开放性学园。

学校的教学管理充分发挥私立学园特色，贯彻自主，民主，公正，公开和非暴力原则，让教职员工和学生参与学校建设，以校友和学生父母相互协作为基础，加强与社会的合作，致力于学园的进一步发展。

立命馆为了开拓人类的未来，遵循学问自由之原则，为开创普及性价值和探索人类所面临的诸多课题迈进。在教育上，遵循建学精神和教学理念，为培养“有理想，并为理想而奋斗”之精神为基础，以坚实学力为底蕴，让丰富多彩的个性特色得到充分展现。为培养具有正义感和伦理观，适应社会需求的国际型，复合型高级人才而努力。

立命馆将恪守本宪章的宗旨，作为教育—研究机构，为世界与日本的和平，民主及持续性发展贡献微薄之力。

立命館大学学生育成目標

立命館大学は、「自由と清新」の建学の精神と「平和と民主主義」の教学理念に基づき、「未来を信じ、未来に生きる」の精神をもって、確かな学力の上に、豊かな個性を花開かせ、正義と倫理をもった地球市民として活躍できる人間の育成に努めることを教育的使命としています。

立命館大学は、多様なバックグラウンドや個性を持つ学生達が、「Creating a Future Beyond Borders 自分を超える、未来をつくる」ことができる主体として学び成長していくことを、様々な部署が連携することによって教職協働で支援しています。正課・課外など学生生活全体を通じて、「学びのコミュニティ」の中で相互に学び合い、切磋琢磨し、学部卒業時に次のようなことができる学生の育成を目指しています。

- (1) 多様な価値を尊重し、他者との対話と協働を重視し、「平和と民主主義」の価値観に裏打ちされた自律的な思考と行動ができる
- (2) 幅広い教養と専門性を有し、グローバルとローカルの視点を備え、既存の枠組みや境界を超えた「自由」で「清新」な思考と行動で問題発見・解決ができる
- (3) 自己を理解し、自らの役割や課題を踏まえた責任ある思考と行動ができる
- (4) 「未来を信じ、未来に生きる」高い志を持ち、生涯にわたって学び、行動し続けることができる

2018年3月2日制定

The Ritsumeikan University Undergraduate Educational Mission and Vision

Ritsumeikan University seeks to promote both rigorous scholarship and individual insights while nurturing just and ethical global citizens. Based upon the university's founding ideals of Freedom and Innovation and its core educational philosophy of Peace and Democracy, this educational mission furthers our core commitment to, in the words of the great Ritsumeikan postwar chancellor Hiroshi Suekawa, encouraging students to "believe in the future, live for the future."

Faculty and staff within the various offices and departments of Ritsumeikan University work closely together to support the individualized learning and development of its many students from a diverse array of backgrounds, empowering those students who are the agents in the process of "Creating a Future Beyond Borders."

Ritsumeikan University is committed to establishing an inclusive learning community. Its members are to learn together and to push one another to excel while they enjoy a comprehensive student experience that encompasses both academic and extracurricular activities. Bachelor's degree program graduates are expected to demonstrate the following four key skills:

- (1) Embrace the values of Peace and Democracy by respecting the diverse values held by others and by emphasizing communication and cooperation;
- (2) Innovate existing frameworks and break down restrictive borders by applying the global and local perspectives acquired from a broad general education and studies in a specialized major field, even as they seek out and attempt to solve the problems facing human society, following the values of Freedom and Innovation;
- (3) Think and act in a responsible manner based on an awareness of their own individual roles in society and issues discovered within their own lives;
- (4) Take actions stemming from lifelong learning as the greatest expression of believing in the future and living for the future.

March 2, 2018

立命館の歴史



学祖 西園寺公望
1849～1940年
(渡欧中)



創立者 中川小十郎
1866～1944年
(東京時代(後列左)前列右は夏目漱石)



名誉総長 末川 博
1892～1977年

1869年	西園寺公望(学祖)私塾「立命館」を創始	1948年	学校教育法による「立命館大学」(新制)を設置
1900年	中川小十郎「私立京都法政学校」を創立		法学部、経済学部、文学部を設置
1903年	専門学校令により「私立京都法政専門学校」に組織変更	1949年	理工学部(新制)を設置
1904年	専門学校令による「私立京都法政大学」への改称	1950年	大学院(新制)を設置
	大学部(法律学科、経済学科、予科)、専門学部(法律科、行政科、経済科、高等研究科)を設置	1951年	財団法人立命館を「学校法人立命館」に組織変更
1905年	西園寺公望「立命館」の名称継承の許諾を受ける	1952年	立命館神山中学校、立命館神山高等学校、立命館夜間高等学校を立命館高等学校、立命館中学校に統合
	「私立清和普通学校」を創立	1953年	「わだつみ像」建立
1913年	大学を「私立立命館大学」、私立清和中学校を「私立立命館中学」と改称	1962年	経営学部を設置
1917年	司法試験受験希望者のために大学に特別研究科を設置	1963年	二部(夜間)を改組—法学部、経済学部、文学部(人文学科を設置)
1922年	大学令による「立命館大学」(旧制)への昇格	1964年	二部経営学部を設置、二部理工学部を改組し、基礎工学科を設置
	大学に法学部(法律学科、経済学科)、研究科、予科を設置	1965年	産業社会学部を設置
1923年	専門学部(法律科、経済科)、予科を設置		一部経済学部・経営学部 広小路より衣笠キャンパスへ移転
1927年	専門学部(文学部、商学部)を設置	1969年	「わだつみ像」破壊される
1931年	大学に夜間部を設置	1970年	産業社会学部 広小路より衣笠キャンパスへ移転
1933年	京大事件で辞職の教員18名を迎え入れる		「わだつみ像」再建
1938年	「立命館高等工科大学」を開校	1976年	「わだつみ像」再建立(衣笠図書館)
1939年	立命館高等工科大学を「立命館日満高等工科大学」に組織変更	1978年	文学部、二部全学部が広小路より衣笠キャンパスへ移転
1942年	立命館日満高等工科大学を「立命館大学専門学部工学科」へ昇格、理学科を設置	1981年	法学部が広小路より衣笠キャンパスへ移転、衣笠一拠点完成
1944年	専門学部を「立命館専門学校」に改組	1987年	理工学部(情報工学科)を設置
1945年	末川博、立命館大学学長に就任	1988年	国際関係学部を設置
1946年	立命館土曜講座を開設		立命館中学校・高等学校 北大路学舎から深草学舎へ移転拡充・男女共学化
1947年	新制中学校を設置		京都国連寄託図書館を設置
		1991年	立命館・UBC ジョイントプログラム開始

1992年	大学院国際関係研究科を設置 「わだつみ像」を衣笠図書館より国際平和ミュージアムへ移設 国際平和ミュージアムを設立	2006年	立命館小学校を設置 立命館守山高等学校を設置 大学院経営管理研究科(経営大学院)を設置
1994年	びわこ・くさつキャンパス(BKC)を開設 理工学部拡充移転 理工学部に生物工学科、環境システム工学科を設置、情報工学科を改組・拡充し、情報学科を設置 政策科学部を設置		経済学部国際経済学科、経営学部国際経営学科を設置 文学部を人文学科1学科に再編・統合 「立命館憲章」制定 朱雀キャンパスを開設
1995年	立命館宇治高等学校を開校	2007年	映像学部を設置 立命館守山中学校を開校
1996年	立命館大学慶祥高等学校を開校 理工学部光工学科、ロボティクス学科を設置 人文総合科学インスティテュートを設置 昼夜開講制の実施		大学院公務研究科(公共政策大学院)を設置 産業社会学部を現代社会学科に学科再編
1997年	大学院政策科学研究科を設置	2008年	生命科学部・薬学部を設置
1998年	経済・経営学部 BKC へ移転 新展開 文理総合インスティテュートを設置	2010年	スポーツ健康科学部・スポーツ健康科学研究科を設置
2000年	立命館アジア太平洋大学を開学 立命館慶祥中学校を開校 立命館大学慶祥高等学校を立命館慶祥高等学校に名称変更 国際インスティテュートを設置 理工学部数学物理学科を改組し、数理科学科・物理科学科を設置	2011年	国際関係学部グローバル・スタディーズ専攻を設置 大学院映像研究科を設置
2001年	大学院応用人間科学研究科を設置 産業社会学部に人間福祉学科を設置 文学部に心理学科を設置 文学部哲学科に教育人間学専攻を設置 大学院理工学研究科にフロンティア理工学専攻を設置	2012年	大学院情報理工学研究科を設置 大学院生命科学研究科を設置 理工学部電気電子工学科と電子光情報工学科を統合し、電気電子工学科に再編。 機械工学科とマイクロ機械システム工学科を統合し、機械工学科に再編 文学部の14専攻・プログラムを再編し、8学域、18専攻を設置
2002年	言語習得センターを設置 大学院経営学研究科にプロフェッショナルコースを設置	2013年	政 策 科 学 部 に Community and Regional Policy Studies 専攻を設置 大連理工大学と共同で大連理工大学・立命館大学国際情報ソフトウェア学部を開設
2003年	大学院言語教育情報研究科、先端総合学術研究科を設置 立命館アジア太平洋大学大学院アジア太平洋研究科、経営管理研究科(経営大学院)を設置 立命館宇治中学校を開校	2014年	大学院薬学研究科を設置
2004年	情報理工学部を設置 大学院法務研究科(法科大学院)を設置 理工学部電子情報デザイン学科、マイクロ機械システム工学科、建築都市デザイン学科を設置 文学部を人文学科と心理学科に学科再編	2015年	大阪いばらきキャンパス(OIC)を開設、経営学部、政策科学部、大学院経営学研究科、政策科学研究科、テクノロジー・マネジメント研究科、経営管理研究科移転 薬学部創薬科学科を設置
2005年	大学院テクノロジー・マネジメント研究科(MOT 大学院)を設置 立命館孔子学院を設立	2016年	総合心理学部を設置
		2017年	教職研究科(教職大学院)を設置
		2018年	食マネジメント学部を設置 国際関係学部アメリカン大学・立命館大学国際連携学科を設置 人間科学研究科を設置
		2019年	グローバル教養学部を設置